



# 富士見市価値共創プラットフォーム

## 『SDGsフジミライテラス』 検討会

令和8年4月23日（木）





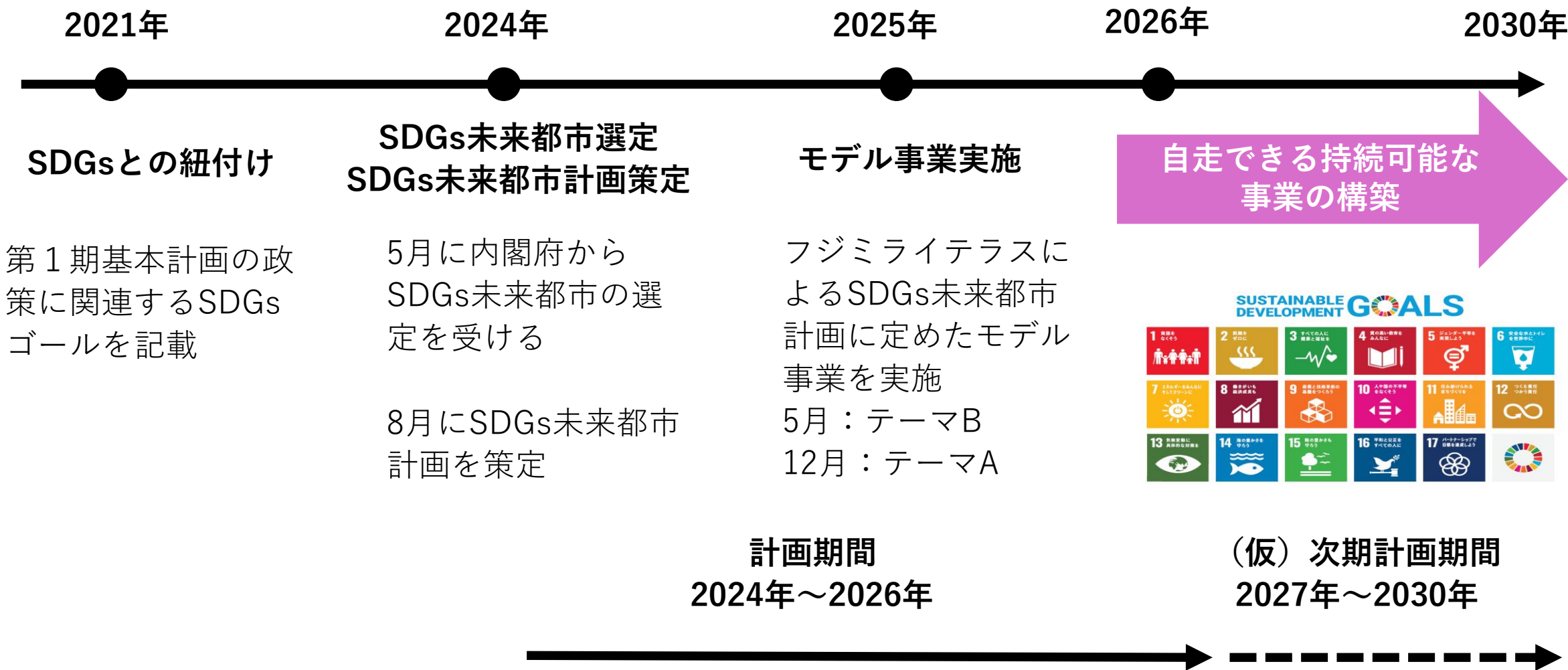
- 1.開会
- 2.SDGs未来都市計画について
- 3.SDGsフジミライテラスとは
- 4.令和7年度モデル事業の振り返り
- 5.今後の実施事業について

# SDGs未来都市計画について



## ■SDGsに関する経過

# GOAL





# SDGs未来都市計画について

## ■富士見市SDGs未来都市計画とは

以下の内容を中心として策定

- ◆ 3側面の視点による課題と、2030年のあるべき姿
- ◆ 計画期間におけるモデル事業、注力事業、各取組
- ◆ 自治体SDGsの推進として、取組と計画期間（2026年）の目標
- ◆ 地方創生・地域活性化への貢献に向けた『フジミライテラス』の創設
- ◆ 各側面の先導的な取組とモデル事業

## 進捗評価

- ◆ 自治体として、毎年度目標値に対する計画の進捗評価を実施
- ◆ 評価については、SDGsの所管省庁である内閣府によっても評価
- ◆ 評価結果は、自治体ホームページ、内閣府ホームページで公表

**みんなが活躍できる価値共創都市～充実した日々の実現に向けて～**  
埼玉県富士見市

<b>1.地域特性と課題及び目標</b>	富士見市は、埼玉県の南東部、首都圏30km圏内に位置する。東武東上線の駅が市内に3駅（みずほ台・鶴崎・ふしみ野）あり、池袋まで30分圏内。その交通利便性が首都圏近郊のベッドタウンとして発展してきた。市の人口は、113,185人（2024年1月31日）であり、20代・30代からの転入超過となっており、現在も微増傾向にある。一方で、昼夜間人口比率は、75.4%（2020年10月1日）と県内ワーストであるとともに、地域経済の自立度を示す地域経済乗率も46.1%（2018年）で県内平均（75.2%）を下回っており、仕事や消費を市外に依存する状態となっている。その解決のため本市が持つ人としての資源を最大活用し好循環を生み出すための、学びの場、雇用の場、憩いの場を創り上げていく。
<b>2.全体計画の概要</b>	首都圏近郊のベッドタウンとして発展してきた富士見市が、少子高齢化の進行・人口減少の到来という厳しい状況下においても、基本構想で掲げる20年後の理想の「未来」である「自ら歩みで充実した日々を送ることのできる未来」を実現するため、富士見市として最も重要な資源である「人」による活力を生み出し、みんなの笑顔があふれる持続可能なまちづくりを進めていく。
<b>3.関連するゴール</b>	
<b>4.2030年のあるべき姿</b>	<p>「人」の活力に満ちた、「みんな笑顔あふしみ野」の実現 「富士見市第6次基本構想」では、2040年の理想の「未来」を描き、「みんな笑顔あふしみ野」を合言葉に歩みを進めている。</p> <p>「第2期基本計画(2025～2030)」はSDGsのターゲットと同一であることから、まずは、2030年を1stターゲットとして、2024年7月1日にキックオフした富士見市価値共創プラットフォーム「SDGsフジミライテラス」を中心に、市民・企業・金融機関・教育機関といったあらゆるパートナーとともに、経済・社会・環境における地域課題を解決しながら、富士見市の価値、持続可能性を高めていく。</p>
<b>5.自治体SDGs推進等に向けた取組</b>	
<b>6.他地域への展開状況(他府県)</b>	本モデルは本市の既存施設をベースに再構築したものであり、同様の課題を抱える地方公共団体での汎用性・模倣性から普及展開性は高い。また、自治体が運営するプラットフォームと相互交流を行うことで、波及効果を高めている。

**みんなが活躍できる価値共創都市～充実した日々の実現に向けて～**  
埼玉県富士見市（2024年度進捗）

<b>1.地域の特性と課題及び目標</b>	本市には鉄道駅が3駅（みずほ台・鶴崎・ふしみ野）あり、池袋まで30分圏内。その交通利便性が首都圏近郊のベッドタウンとして発展してきた。市の人口は、113,544人（2025年6月30日）であり、現在も微増傾向にある。一方で、昼夜間人口比率は、75.4%（2020年10月1日）と県内ワーストであるとともに、地域経済の自立度を示す地域経済乗率も44.1%（2018年）で県内平均（75.2%）を下回っており、その解決のため本市が持つ人としての資源を最大活用し好循環を生み出すための場を創り上げていく。	<b>2.関連するゴール</b>	
<b>3.取組の概要(三側面をつなぐ統合的取組を要する)</b>	市でSDGsを進めていくには、行政だけでなく、様々なステークホルダーの参加が必要となる。少子高齢化の進行、人口減少の波が訪れる中、その意義は、重要性を増している。イノベーションの創出や価値共創型事業の展開を図り、2030年のあるべき姿を実現するため、ヒト、モノ、カネ、情報を集約するプラットフォームを創設する。	<b>4.自治体SDGs推進等に向けた取組</b>	<p>今月6月10日に施行した富士見市価値共創プラットフォーム「SDGsフジミライテラス」設置要綱によりパートナー会員を募集しており、6名の個人会員と230の企業会員（2025年8月1日）に参画いただき、事業の推進を進めている。</p> <p>市内唯一の高校である富士見高校の生徒を対象に、プラットフォームのパートナー会員による、パネルディスカッションと個別ブースで職業経験等を伝える事業を検討（2025年12月実施予定）</p> <p>また、事業自体は既に実施しているイベントと共同実施し、市内の大型公園を活用したことで、イベント全体の来場者は5,000人を超えるなど、多くの人がSDGsに興味を持てる機会を創出する機会となった。</p> <p>また、SDGs員外会議の提供により考え、市の予算は活用せず参加者も利益を優先しないイベントとして、最低限の参加者負担で実施した。</p>
<b>5.取組推進の工夫</b>	取組としては、市が主導するのではなく、プラットフォームのパートナー会員間「自強で共創する」であることが、立上り段階の検討会では、市の判断待ちという雰囲気があった。また、情報共有手段を固定しなかつたため、情報伝達がうまくいかなかったことから、統一するなど改善を行った。	<b>6.取組成果</b>	<p>2025年12月開催予定のテーマAについて6名の個人会員と9の企業会員に参加いただく予定で、継続して検討を進めている。</p> <p>また、SDGs マルシェについては参加員からふしみ野地域以外からの開催に関する要望も出ていることから、2026年度の実施についても今後検討していく。</p>
<b>8.他地域への展開状況(他府県)</b>	株式会社官通の企画により、SDGsの推進活動に取り組み自治体の紹介として埼玉新聞への掲載や、埼玉県が運用するSDGsパートナー登録者へSDGsフジミライテラスの周知と、連絡のあった企業への事業紹介を実施した。	<b>7.今後の展開策</b>	

# SDGs未来都市計画について



## ■各側面の方向性と主な取組

### 経済面

【目指す姿】 女性が社会の最前線で活躍できるまち	
【課題】地域経済循環率・女性の就業率	
方向性	主な取組
<p>&lt;自己実現のための成長の場&gt;</p> <p>◆女性のエンパワーメントを実現していく上では、時代の潮流や職種に応じたスキルセットを身に付けていく必要がある。</p> <p>◆社会参加や社会復帰を希望するすべての女性が、その能力を十分に発揮できるよう、成長の機会を創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業団地の誘致</li> </ul>
<p>&lt;一人ひとりが輝ける仕事の場&gt;</p> <p>◆女性の社会参加や社会復帰を促していくためには、スキルセットの習得だけでなく、企業等にその受け皿を整える必要がある。</p> <p>◆このため、ワークスタイルやライフスタイルに応じて、あらゆる女性が輝くことができるよう、創業や雇用の機会や場を市内に確保していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィス等誘致の検討</li> <li>・経営のプロによる経営・創業相談事業</li> <li>・事業承継、M&amp;A支援の検討</li> </ul>
<p>&lt;至福を感じる消費の場&gt;</p> <p>◆民間調査においても、消費行動の意思決定にあたり、多くの場面で女性が関与しているという結果や男性と比べて消費意欲が高い傾向が示されているなど、市内消費を高め、地域経済循環率を向上させていくうえで、女性の存在は欠かせない。</p> <p>◆仕事の場を確保し、市内女性の可処分所得を底上げするとともに、ご褒美消費や自分磨き消費など、女性の消費意欲を刺激し、至福を感じることで消費の場を確保していくことで、市内の消費拡大につなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業チャレンジ支援事業</li> <li>・商店街空き店舗出店支援事業</li> </ul>

# SDGs未来都市計画について



## 社会面

【目指す姿】 子ども・若者が夢にチャレンジできるまち

【課題】子育て年代の転出・合計特殊出生率

方向性	主な取組
<p>&lt;子育てしやすいまちづくり&gt;</p> <p>◆安心して子どもを産み、育てていくための前提として、家庭、職場をはじめとする、あらゆる場所・場面において、多くの女性が富士見市で子どもを産みたい、育てたいと思えるような、子育てしやすいまちづくりを進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・PF参加企業のウェルビーイングの推進</li><li>・保護者・保育者双方の負担を軽減する保育環境の検討</li></ul>
<p>&lt;県内最高水準の教育環境&gt;</p> <p>◆社会や経済のシステムが急速に効率化・合理化していく中で、子どもたちの将来についての不安を感じることは少なくない。</p> <p>◆学力の向上に特化した画一的な教育だけではなく、さまざまな物事に触れ、五感を刺激し、子どもたちの個性を育む、将来を生き抜いていく力をつけていく環境を整え、子どもたちの健やかな成長を見守り、親が抱える不安を解消していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・GIGAスクールの推進</li><li>・STEM教育の推進</li></ul>
<p>&lt;若者の活躍&gt;</p> <p>◆急速な人口減少社会への移行、国際的な経済競争の激化、高学歴化など、子どもや若者を取り巻く将来の不安は少なくない。</p> <p>◆そのような中でも、身近にいる大人たちの輝く姿を目にして、希望を持って社会に羽ばたき、そして将来結婚し、子どもを産み、育てていく。</p> <p>◆これからの未来を築いていく若者が、将来に向けた夢や目標にチャレンジし、充実した日々を過ごしていくための、選択肢を確保していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・若者の学び直し相談</li></ul>

# SDGs未来都市計画について



## 環境面

【目指す姿】 自然に寄り添うライフスタイル(脱カーボン)

【課題】自然環境の保全・都市公園の確保

方向性

主な取組

### <人が集い、憩う自然公園>

- ◆現代 社会 はストレス社会と呼ばれてから久しい。そのような中で持続可能な働き方を実現していくためには、日々の仕事等で抱える緊張や不安を緩和し、明日への活力を生み出す環境が必要となる。
- ◆私たちの暮らしの身近にある公園で、大切な家族や友人とともに、たくさんの自然に囲まれながら、何気ないひとときを過ごす。また、自然公園を通じて新たなつながりや新たな気付きが生まれる。
- ◆仕事に家事に育児に日々奔走する 本市 の女性たちが身体と心を癒し、また、小さな幸せ や充実 を感じ ることができる 公園を確保していく。

### <人を育む自然環境>

- ◆公園をはじめとする自然の中での体験から生まれる感動や好奇心は、人々の生きていく力や豊かな心を育む。子育てをする保護者として、そして一人の人間として、たくさんの自然や生き物に触れ、感じ、学ぶことで、心と身体を成長させていく。
- ◆生き物に触れ、感じ、学ぶことで、心と身体を成長させていく。また、このような体験が得た学びや気付きを、普段の生活や仕事に活かしていく。
- ◆このような自宅や教室から一歩足を踏自宅や教室から一歩足を踏み出すことでしか味わうことのできないみ出すことでしか味わうことのできない価値ある価値ある体験や学習イベントを提供していく。体験や学習イベントを提供していく。

- ・インクルーシブ遊具の設置推進
- ・水子貝塚公園でのツリークライミング™体験
- ・びん沼自然公園での自然学習イベント
- ・農業体験を通じた自然学習

### <豊かな自然環境の継承>

- ◆人々が生活を営む上で、大気や水、地形や土壌、緑や生態系など、あらゆる形で存在している自然環境は、決して切り離せない。
- ◆本市の魅力である都市と緑が調和したまちを、次の世代にしっかりと受け継いでいくために、今ある豊かな自然環境の保全や地球規模で進んでいる環境課題の解決に向けた具体的な対応を、市内全体で取り組んでいく。



01

## フジミライテラスの役割

企業や団体、教育機関、市民などが協働により、『持続可能なまちづくり』を実現するために、富士見市が創設した地域共同体

02

## プラットフォームコンセプト

- すべてのステークホルダーがフラットな関係性で組織
- 情報共有や検討だけでなく、実施主体としての機能
- 『感動』と『共鳴』というコアバリューを設定

03

## 取組推進の仕掛け

- セグメントの限定⇒人口戦略の対象を「女性と子ども」に設定
- 価値共創型実証事業⇒成功体験の創出とパートナー間のチームビルドの向上を図る

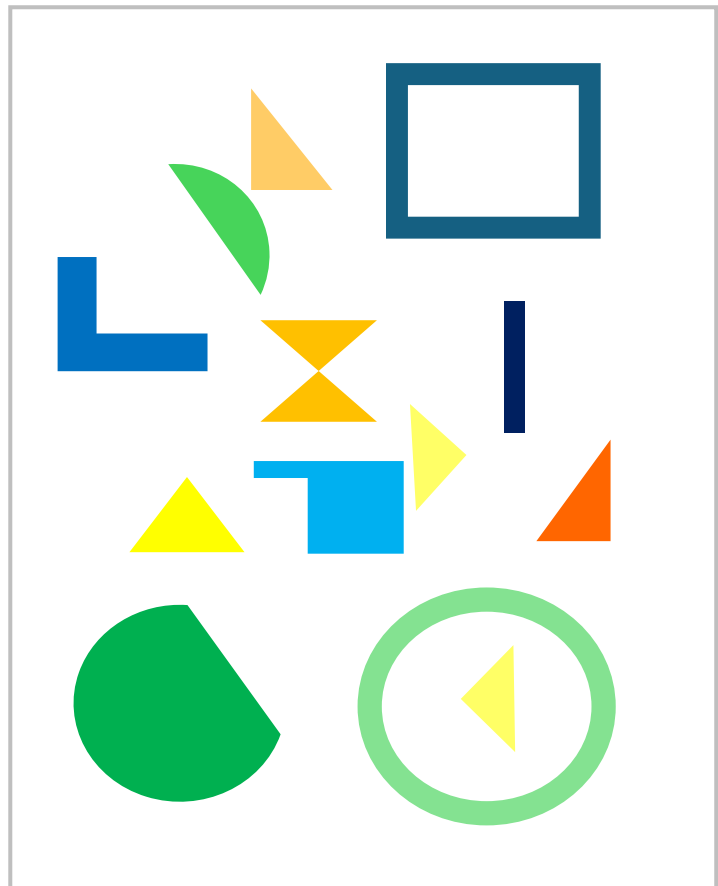


# SDGsフジミライテラスとは

## ■SDGsフジミライテラスの目指す姿

フェーズ1  
各自で取り組む

自治体や企業・団体・市民で  
貢献できる範囲が異なる



フェーズ2  
関連分野で連携

官民、民民連携・市民協働  
などで大きく・キレイな形へ



フェーズ3  
分野や主体を超える

これまでの枠組みで解決できな  
い課題へ対応



# 令和7年度モデル事業の振り返り



## テーマA

### 高校生に向けたキャリア教育

#### 効果

- ・実施する「意義」や「目的」が明確になり共有できた。
- ・「目的実現」を可視化する形で施策内容を詰めることができた。
- ・就職のためではなく「社会で働く」をイメージしてもらえた。
- ・生徒が多様な職種に触れたことで、将来設計への意識向上が観られた。
- ・高校生が地域とつながったことで、地域に目を向けるきっかけとなった。
- ・高校生のアンケート結果からも、良い内容であったと判断できた。
- ・イメージ通りの反応（そこまで真剣ではなかった）であったと思う。
- ・社会の生の意見を共有し、将来を考えるきっかけとなった。
- ・それぞれが機動的に協力できたことで、成功できたと感じた。
- ・メンバーの結束管が生まれた。
- ・生徒との温度差を感じた。
- ・多くの職種が参加し、特徴のある事業となった。
- ・市職員の主体的な関与がないと成立しないと実感した。
- ・検討会の時間に対し、単発イベントであったことも含めて、十分な手ごたえがあったとはいえなかった。
- ・実施内容、時期ともに有意義なものとなった。

#### 課題

- ・持続的に活性化していくために、定点的なデータ計測が必要。
- ・単年度で終わらせるのではなく、発展的な取組として考えていくべき。
- ・全生徒に十分に響いたものとは言えなかった。
- ・自己満足で終わらないように、どのようにつなげていくかのイメージが持てていなかった。
- ・高校生との意見交換にはもう少し時間があってもよいと感じた。
- ・参加したメンバーの力によるものが大きく、継続するためには属人的にならないようにする必要がある。
- ・もっと早い段階から実施した方が子供の裾野がさらに広がると思います。

## テーマB

### 自然公園を活用したふじみSDGsマルシェ

#### 効果

- ・地域住民の交流と地域経済の活性化に寄与した。
- ・多くのステークホルダーに参加企業やイベントを知ってもらうことができた。
- ・会場に多くの来場者があり、充実したイベントとなった。

#### 課題

- ・屋外実施の場合、天候に左右されやすいので、代替案の検討も必要。
- ・自己満足で終わらないように、どのようにつなげていくかのイメージが持てていなかった。
- ・事業実施後に全体での振り返り（評価）機会がなかった。
- ・事業実施後にメンバー間での意見交換を実施すべきであった。
- ・継続実施が判断できない中で、テント購入等の負担については疑問が生じた。
- ・既存団体のイベントに参加となったため、提案が通らず、結果として既存イベントの盛り上げとなってしまった。

# 今後の実施事業について

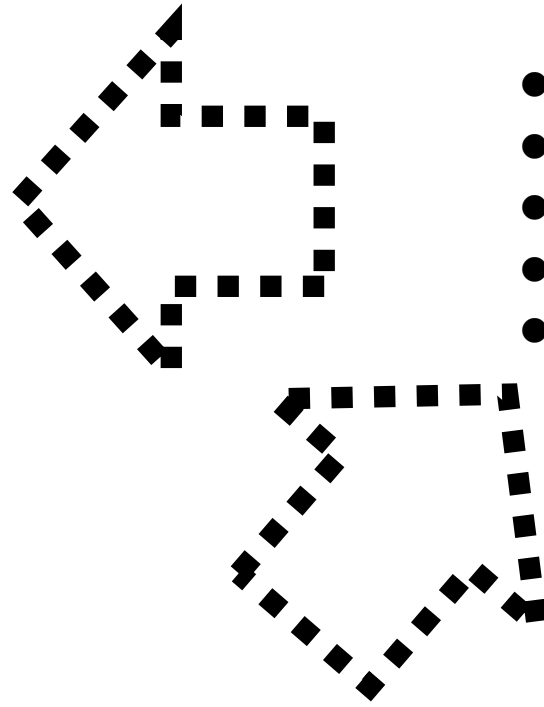


## あるべき姿につながる取組

- 高校生向けキャリア教育
  - 小学生・中学生向けの社会教育
  - パートナー企業への見学ツアー
  - 勝瀬原記念公園でのマルシェの継続
  - 他地域での公園マルシェの開催
  - ブルーベリー農園の整備
  - 月1回の100人会議
- etc

## 解決すべき課題

- 市民総活躍の推進
- 地域経済の活性化
- 自然環境の保全
- 住みたい・住み続けたいまちづくり
- 将来における活力の向上



## 2030年のあるべき姿

【社会面】  
市民総活躍  
(誰もが活躍できる  
まち)

【経済面】  
地域経済の活性化

【環境面】  
脱炭素社会の構築